

平成 29 年度事業計画書
平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日まで

一般社団法人防災ガール

1 事業実施の方針

私たち一般社団法人防災ガールは、2017 年 3 月 11 日で任意団体立ち上げから 4 年が経ちました。「防災があたりまえの世の中にする」ことをビジョンに掲げこれまで約 130 名のメンバーがこれまでの防災ガールを創り、数千人数万人の方々に共感・応援していただいでここまで成長することができました。しかし、このご縁や奇跡ともいべきこの環境を胸に止めつつ、4 年という月日をかけてもなおビジョンを達成できていないことに目を向け続けます。そこをこだわってこそ私たちの活動に命が宿ると思います。平成 29 年度には「防災をこれからのフェーズへ」とタグラインやロゴを変え、体制を変えてさらに目標とする世界をつくっていくために選択と集中し、精度を高め、速度をあげていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) ビジョンとミッション

1-1) ビジョン

「防災があたりまえの世の中にする」

上記ビジョンは、平時と緊急時という境目をなくし普段の生活から未来に対して備えた行動をし、生きぬく力のある人が多くいる世界を意味します。

1-2) ミッション / タグライン

「防災をこれまでにないフェーズへ」

これまで私たちは既存の防災のアンチテーゼとしておしゃれや可愛さが非有ようだと提案してきましたが、業界も時代も変わり、ようやく防災にデザインやコミュニケーションの重要性が広がりました。ここからは私たちが防災業界を引っ張っていく、旗振り役となれるよう、ジンテーゼを提案し続けます。

1-3) メインコピー

「そろそろ新しい防災の話をしよう。」

ミッション、タグラインでも記載したように、自分たちも速度をあげて成長し、業界を引っ張っていきます。ともに新しい防災を考え、これからの時代に必要な防災を先回りして考え話す仲間を増やします。

1-4) ターゲット

「生き抜くことを諦めない人」

これまで 20-30 代若者をターゲットとしてきましたが、さらに私たちは次に災害がいつ来るかわからない中で、本当に必要としている人に届くようにと再度ターゲットを設定し直しました。

1-5) 各事業のコンセプト

WEB メディア：防災をもっとオシャレでわかりやすく

WEEL コンセプト：生き抜く知恵の実験室

#beORANGE コンセプト：オレンジは、津波防災の色。

COMMUNITY MANAGEMENT：平時にも緊急時にも機能する新しい防災コミュニティ

(2) 平成 29 年度目標

- 1 ソーシャルスタートアップによる社会変革の事例を創る
- 2 まだ世の中に存在しない新しい概念の防災を生み出し提唱する
- 3 防災業界の旗振り役、リーダーとしての意識・立場の団体内外での確立

(3) 事業ごとの計画

事業名	プロジェクト名 (主な事業を掲載)	実施予定日	従事者 予定 人数	受益対象者 の範囲	収入 見込み額 (千円)	支出 見込み額 (千円)
(1) 防災対策普及事業	#beORANGE	4月～3月	20人	宮崎県民 日本国民	5000	3000
(2) 産官学連携事業	東京防災女性版	5月～12月	1人	東京都民	1000	0
(2) 産官学連携事業	WEEL	7月～3月	4人	長浜市民 閲覧者全員	4000	3000
(3) プロジェクト企画	委託事業	未定	3人	未定	2000	0
(4) 情報発信事業	bosai-girl.com info サイト SNS	毎日	5人	閲覧者全員	500	300
(5) 防災教育事業	防災ガールの内部教 育・育成	月3回	7人	団体メンバー	0	0
(5) 防災教育事業	講演・登壇	月1回	4人	参加者	500	0
(6) 商品開発販売事業	委託事業	未定	2人	未定	1200	0

■表に対する説明

- ・ イベント、プロジェクト、商品開発事業は団体として実施することをビジョン達成に向けて控えています。
- ・ 今年度の活動に対する助成金も平成 28 年度中に振込が完了しています
- ・ WEEL にかんしては長浜市の地域おこし協力隊の枠組みを活用し活動する 3 名が個人として収益を受け取るため、事業としての収支はありますが団体に影響しません。
- ・ #beORANGE に関しては来年度以降プラットフォーム運営に徹するためスポンサーを募ることを計画しています。